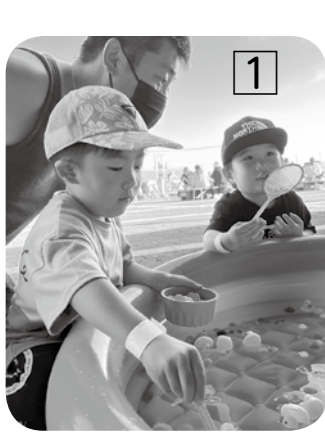


代替イベントのもせうし町民焼肉まつり



1



2



3



4

もせうし夏まつりの代替イベント「もせうし町民焼肉まつり」が8月7日、総合体育館前の特設会場で開かれました。七輪を囲む町民の皆さんが家族や友人と談笑しながら、香ばしい焼肉に舌鼓を打ちました。

会場には各団体の露店が並び、ダーツやスーパーボールすくいを楽しむ子どもたちの姿も。豪華景品が当たる抽選会には、町応援大使の山下彩耶さんも参加し、来場者を盛り上げました。

最後に、夏の夜空を彩る花火が打ち上げられ、3年ぶりのまつりを締めくくりました。

- 1 スーパーボールすくいに挑戦 2 ダーツも楽しい
3 抽選に参加した山下さん（左）と自転車を引き当てた男性
4 ビールを手に焼肉を味わう来場者

もせうし豊年盆踊り大会 3年ぶりの開催

もせうし豊年盆踊り大会が8月12日、JR妹背牛駅前通りの特設会場で3年ぶりに開かれ、町民の皆さんが夏の風物詩を楽しみました。

盆踊りの曲や「もせうしこがね太鼓」の音が響く会場では、浴衣を着た子どもたちがやぐらを囲んで大きな輪をつくり、元気いっぱいな踊りを披露。大人の部に参加した人たちはユニークな仮装姿で盆踊りを盛り上げました。

新米30㌔などが当たる抽選をはじめ、食事やゲームが楽しめるコーナーもあり、訪れた人たちは夏の楽しいひとときを過ごしました。



仮装する妹背牛
商工会女性部の
メンバー

→ 涼しげな浴衣
を着た女性
の姿



妹背牛町のフェイスブック公式アカウントと、地域おこし協力隊が運営するInstagramでは、今年5月から週に5日ほどのペースで地元やベトナムに関する情報を紹介しています。

SNSの特性を生かした鮮度の高い情報から、月に1度発行の広報紙では掲載しきれない身近な話題まで、随時、投稿しています。

右記のQRコードからアカウントをフォローの上、お時間のある時にご覧ください。



フェイスブック



Instagram

妹背牛保育所に夏の味覚をお届け



“ジャンボ” スイカ割り

7月下旬から8月上旬にかけて、認定こども園妹背牛保育所に夏の味覚が届けられました。

重さ約20キロもあるジャンボスイカをプレゼントしたのは、獅子舞のルーツがある富山県入善町。目隠しをした園児たちはスイカ割りを楽しみ、みずみずしいスイカを味わいました。

一方、地場産メロンを届けたのは町花卉蔬菜振興協議会の原力哉会長と生産者の谷川雅昭さん。園児たちはお礼の言葉を述べた後、甘い香りと味を楽しみました。

メロンを受け取って笑顔の園児たち



妹背牛など3町合同のミニバスクラブが全道へ



田中町長に全道大会出場の報告をした「ソル・ベルテ」の選手たち

妹背牛、秩父別、沼田3町合同のミニバスケットボールクラブ「ソル・ベルテ」が、チーム名を変更して初めての全道大会出場を決め、7月26日に妹背牛町役場を訪問しました。

小学1～6年生で構成する同クラブは、積極的な攻撃が持ち味。田中一典町長から「3町の力を合わせて勝ち上がってほしい」との激励を受けた、キャプテンの荒瀬雅斗君（妹背牛小6年生）は「全力を出して、全道でも勝ちたい」と、抱負を述べました。

町内会向けの認知症サポーター養成講座



脳の仕組みについて説明する金子さん

認知症への理解を広める「認知症サポーター養成講座」が7月23日、中心部の「わかち愛もせうしひろば」で開かれ、1区19町内に住む20～70代の11人が認知症患者と接する際の知識を深めました。

町地域包括支援センターが、町内会単位で初めて開きました。

認知症地域支援推進員の金子智津子さんが自作したイラストと文章を例題に、探し物が多くなるお年寄りと家族のやり取りを紹介。「物をなくしたときは、一緒に探しながら、自分で見つけるように誘導してください」と、対応について述べました。

オリジナルのあいもちゃんピンバッジ

妹背牛町共同募金委員会は、町のキャラクター「あいもちゃん」のピンバッジを制作し、赤い羽根共同募金への協力を呼びかけています。

数量限定のピンバッジは、町章カラーのグリーンとカーリングストーンをあしらったオリジナルのデザイン。スーツやかばんに着けやすいと、好評です。

500円以上の寄付につき、1個を進呈しており、制作費を差し引いた額が同運動に寄託される仕組み。事務局がある老人福祉センターで募金を受け付けているほか、妹背牛温泉ペペルにはカプセル玩具販売機（ガチャガチャ）もあります。



ペペルにはカプセル玩具も



あいもちゃんのピンバッジ

8/1 実践的な破壊訓練 解体予定の団地で

エンジンカッターで建物のドアを破壊する団員



妹背牛消防団（須見毅団長）は8月1日、解体予定のみどり団地（1区みどり町内）を破壊する実践的な訓練に励みました。

エンジンカッターの使い方の説明を受けた団員たちは、入り口のドアに穴を開けて外側から開錠。ハンマーを使って扉や壁を壊し、動線を確保しました。

また、住宅内部で煙の充満を想定した救助訓練、大雨時の排水作業に活用する新しい車両装備品の説明もありました。

7/21 子育ての秘訣は「甘え」 モコで育児講話



オンライン講話で子育てのポイントを教わる母親たち

専門家を講師に招いた育児講話「子育てハッピーアドバイス」が7月21日、町内の子育て世代交流施設「from ☆ Moko」で開かれ、母親7人が自己肯定感の育み方や甘えの大切さについて学びました。

講師は、一般社団法人「HAT」認定の子育てハッピーアドバイザーの資格を持つ吉田育子さん＝旭川市在住。オンライン開催の講話で、「子どもは親に甘えた方が成長し、自立もできる」と話し、関心を集めました。

7/16 町民登山で黒岳へ

山頂で記念撮影する登山愛好家



町内の登山愛好家20人が7月16日、大雪山系黒岳（標高1984㍎）を登り、雄大な自然を満喫しました。

一行はロープウェイとリフトに乗って黒岳の7合目へ。珍しい高山植物も楽しみながら、軽い足取りで登頂しました。

清々しい表情を浮かべる参加者たちは、一面に広がる雲海や大雪山の山並みに感嘆の声を上げていました。

7/21 核根絶の世界へ 反核平和の火リレー



平和への願いを込めた火を北竜町へ届ける妹背牛町のランナー

平和への想いをつなぐ「反核平和の火リレー」が道内各地で行われ、妹背牛町には7月21日に“平和の灯”が到着しました。

戦争や核のない世界の実現を求める同リレーは、7月19日に宗谷管内幌延町をスタートし、8月6日に札幌市へゴールする日程で開催。妹背牛町のランナーは、ともに自治体職員の渡邊聖さん、高橋韻稀さん、新井純可さんの3人で、深川市から持ち込まれた火を北竜町へ届けました。